

6月の 園便り

20年 新潟青陵幼稚園 加藤由美子

ミャンマーのサイクロン、中国四川省の地震の被災者への義捐金を集めるために子どもたちが「羊毛の携帯ストラップ」と「枝あみ」を作り、募金活動をしました。「困っている人たちを助ける」「困っている人の役に立つんだ」と子どもたちは、大学へ行ったり、古町へいったりして多くの皆様に製作品を買っていただきました。製作品は大学でも古町でもわずか20分ほどの間に売り切れました。子どもたちを大切に思ってくださいる方々、子どもたちをいとおしんでくださる方々が、温かいお心を寄せてくださり、大学では、13,690円 古町では、34,077円の義捐金をいただくことができました。そしてまた、この募金活動について、保護者の皆様にお便りでお知らせしたところ、「子どもたちが頑張っているのだから、私たち保護者も頑張らなくては-----」と、父母の会の役員の方々がすぐに動き、募金活動を開始してくださいました。ご父母の皆様からは41,739万円の義捐金をいただきました。心から感謝申し上げます。こうして集まった多くの方々のご厚意はあわせて 計89,506円となりました。この義捐金は、青陵学園全体で取り組んでいる義捐金とあわせて、赤十字を通じて送らせていただきます。募金活動を行っていて、募金をしてくださった方をはじめ周囲の方々に、子どもたちが見守られ助けられていたことを強く感じました。人を助けるための活動であったはずなのですが、逆に、多くの方々に温かく包まれ、守られていたのです。子どもたちもきっと、多くの方々に慈しまれ、守られていたことを感じていたことと思います。古町での募金活動を終えて、西堀の日陰に入って幼稚園バスを待っていたときのこと、私たちが持っていた募金の「のぼり」を見て、一人の青年が「地震の募金ですか？」とわざわざ聞きにきてくれて、募金箱にお金を入れてくれました。なんて温かい気持ちを持った若者でしょう。心の温かい人がたくさんいらっしゃる、子どもたちを温かく見守ってくれる人たちがたくさんいらっしゃる、俗な言葉ですが、“世の中捨てたもんじゃないな”と思ったのです。子どもたちは大人の温かさに触れることができ、世の中を信じていくことができるだろうと思いました。人を疑わなければならないことが多くなっているこのごろですが、募金活動を通して、とても心温まる嬉しい経験をさせていただきました。家庭で、幼稚園で、地域で、子どもたちが愛され見守られて育つということが必要なのですが、最近はこういうことがなくなりつつあって、子どもたちが育つ環境が悪くなっていることを残念に思っていたのです。でも、このたびの経験を通して、子どもが育つための温かい環境は、まだ確かにあるのだと嬉しくなったしだいです。



「羊毛の携帯ストラップ」と「枝あみ」を作りました。

20年6月の予定

日	曜	給食	降園時間	行	事
1	日	△	△		
2	月	○	2:00	幼児教育学科学生(第2班)	が実習に入ります。
3	火	○	2:00	歯科検診を行います。	各学年1組
4	水	○	2:00	歯科検診を行います。	各学年2組
5	木	○	2:00		
6	金	○	2:00		
7	土	×	11:30	自由登園日	
8	日	△	△		
9	月	○	2:00		
10	火	○	2:00		
11	水	○	2:00		
12	木	○	2:00		
13	金	○	2:00		
14	土	△	△	第2土曜日	お休みです。
15	日	△	△		
16	月	○	2:00	幼児教育学科学生(第3班)	が実習に入ります。
17	火	○	2:00		
18	水	×	11:30	誕生会です。	6月生まれさんの保護者の方、ご一緒にお祝いしましょう。
19	木	○	2:00		
20	金	○	2:00		
21	土	×	11:30	自由登園日	
22	日	△	△		
23	月	○	2:00		
24	火	○	2:00	プール開きを行います。	水着のご用意をお願いいたします。詳細は後日配布のお便りをご覧ください。
25	水	○	2:00	晴れたら、じゃが芋掘りに出かけます。	
26	木	○	2:00	参観日です。	各学年1組の保護者の皆様おいでください。ご都合の悪い方は両日どちらでも、あるいは他の日でも結構です。
27	金	○	2:00	参観日です。	各学年2組の保護者の皆様おいでください。
28	土	△	△		
29	日	△	△		
30	月	○	2:00		